

新たな「とっとりブランド」 開発へヒント探る



次々とメンバーが発表するリレートークに耳を傾ける聴講者ら＝21日夜、鳥取市のとりぎん文化会館

とっとりブランド戦略会議（植木誠議長）が主催する市民公開講座「きりん講」が21日夜、鳥取市のとりぎん文化会館会議室で開か

れた。同会議が取り組む「新・とっとりブランド」の開発について基調講演とメンバーによるリレートークが繰り広げられ、聴講者ら

と「明日の鳥取」へのヒントを探った。会議はことし6月に発足。委員と県内外で活躍するさまざまな分野の専門家によるアドバイザーなどで構成し、来年3月に食品など新たな「とっとりブランド」を発表する。発足後、2回目となる市民公開講座には約70人が訪れ、熱心に耳を傾けた。

電通九州の川端淳一取締役が講演し、川端氏はイメージを集約する重要性を強調。鳥取県の神話に着目し、「神、宿る地とっとり」などのキャッチコピーを示し、数々のヒット商品を手腕に聴講者は舌を巻いた。ロゴ化したステッカーを、特産品に貼り付けて出荷する特産品の「メディア化」なども提案した。

講演に続き、メンバーが次々と戦略を述べるリレートークもあり、外部に対する情報発信では、韓流ブームに合わせて韓国ドラマのロケ地を有効活用した鳥取県らしいインパクト観光をPRすることなど、さまざまな意見を発表した。